

欧州特許庁（EPO）、知的財産とスタートアップの資金調達との関係に関する報告書を発表

2023年10月23日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁（EPO）は、2023年10月17日、知的財産とスタートアップの資金調達との関係に関して欧州連合知的財産庁（EUIPO）と共同で行った調査の報告書、及びビジネス情報と特許データを組み合わせた情報を検索可能な新しいツール「Deep tech finder」を発表した旨、ニュースリリースにて公表した。

本ニュースリリースの概要は以下のとおり。

- ・ 欧州のスタートアップは、シードステージまたはアーリーステージに特許および/または商標を出願することで、投資家からの資金を確保できる可能性が最大10.2倍高くなる。さらに、欧州特許および欧州連合商標（EU trade marks）を所有している場合は、さらに高い優位性があり、アーリーステージの資金調達の確保率は、国内知的財産権のみを所有している場合の5倍を超える。
- ・ 報告書の重要な調査結果は以下を含む。
 - ✓ 欧州のスタートアップの平均29%が特許または登録商標を出願しているが、業種によって大きな差がある。
 - ✓ スタートアップは成長するにつれてますます知的財産権を活用するようになっており、あらゆる成長段階において欧州の知的財産権に強い関心を寄せている。
 - ✓ シードステージやアーリーステージでの特許や商標の出願は、その後のベンチャーキャピタル（VC）からの資金調達の可能性が高いことと関連している。
 - ✓ 欧州特許と欧州連合商標（EU trade marks）の出願は、スタートアップにとって、その後のベンチャーキャピタルからの資金調達の可能性が（国内知的財産権のみと比較して）さらに高くなる。
 - ✓ 特許および/または商標の出願は、投資家が出口で成功する可能性の2倍以上と関連している。
- ・ Deep tech finder¹は、ビジネス情報と特許データを融合させ、投資家が重要な技術分野で破壊的発明を市場に投入している欧州のスタートアップを検出・評価するのに役立つ。本ツールには現在、あらゆる産業分野にまたがる欧州のディープテックス

¹ Deep tech finder は、Dealroom（スタートアップに関するインテリジェンスのためのグローバルなデータプラットフォーム）に掲載されている欧州のスタートアップと EPO の特許データとの慎重なマッチングに基づいたデータを表示している。信頼性の高い結果を提供することを最優先としているため、元のデータに含まれていなかったり、EPO の特許データと照合できなかった場合、欧州のスタートアップのデータが欠落している可能性がある。Deep Tech Finder の対象は、Dealroom によってシード、アーリー、レイトの成長段階にあると定義されたスタートアップに限定されている。

スタートアップ7,500社以上のプロフィールが含まれている。また、本ツールでは、欧州特許を出願している技術分野ごとに検索することが可能で、スマートインダストリーやクリーンエネルギーなど、これまでに約30の異なる技術が含まれている。

ー EPO のニュースリリース等は、以下参照 ー
(ニュースリリース)

[New study reveals how IP helps startups raise finance](#)

(報告書エグゼクティブサマリー)

[Patents, trade marks and startup finance: Funding and exit performance of European startups – Executive summary](#)

(報告書全文)

[Patents, trade marks and startup finance: Funding and exit performance of European startups – Full study](#)

(Deep Tech Finder)

[Deep Tech Finder](#)

(Deep Tech Finder に関するよくある質問と答え)

[FAQ – Deep Tech Finder](#)

(以上)